生物農薬（商品名：エコショット）の
ナシ黒星病防除への利用

福島県農業総合センター　果樹研究所
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1　部門名

果樹－ナシ－病害虫防除
分類コード　04-03-23000000

2　担当者

瀧田誠一郎・菅野英二

3　要旨

本県病害虫防除指針の赤ナシ防除体系においては、落花直後の散布以降の概ね5月中の黒星病防除は、ほぼ1週間間隔でパルノックスフロアブル 500倍等を散布することとしているが、これを生物農薬（エコショット（*Bacillus subtilis* 5.0×10^{10}cfu/g） 2,000倍）に置き換えた防除体系での防除効果を検討した。

(1) 生物農薬（エコショット）の散布は5月9日、15日、23日及びの計4回行った。その前後の散布は慣行（病害虫防除指針による防除体系）と同一とした。

(2) 6月11日の発病調査において、無処理で発病葉率17.5%、発病果率 1.8%であったのに対し、エコショット2,000倍、慣行（パルノックスフロアブル500倍）とも葉、果実での発病は見られず、同等の防除効果があると思われた。また、薬害は認められなかった。

(3) よって、ナシ黒星病防除体系において落花直後以降～梅雨期前の防除薬剤を化学農薬から生物農薬（商品名：エコショット）に置き換えても十分な防除効果があると思われた。

4　その他の資料等

なし